

2005年ショパン国際コンクール覇者!
着実に巨匠への道を進むブレハッチの
集大成ともいえるプログラム!



Rafał Blechacz

Piano Recital

©Marco Borggreve

バッハ:パルティータ 第2番 ハ短調 BWV826
J.S.Bach: Partita No.2 in C Minor BWV826

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第5番 ハ短調 op.10-1
L.v.Beethoven: Piano Sonata No.5 in C Minor op.10-1

ベートーヴェン:創作主題による32の変奏曲 ハ短調 WoO80
L.v.Beethoven: Variations on an Original Theme in C Minor WoO80

フランク/パウアー編:前奏曲、フーガと変奏曲 口短調 op.18
C.Franck/H.Bauer: Prelude, Fugue and Variation in B Minor op.18

ショパン:ピアノ・ソナタ 第3番 口短調 op.58
F.Chopin: Piano Sonata No.3 in B Minor op.58

ラファウ・ブレハッチ ピアノ・リサイタル

2021 10.30 開場/13:15
開演/14:00
〈土〉

愛知県芸術劇場コンサートホール

S ¥8,500 A ¥7,500 B ¥6,500 C ¥5,500 学生 ¥2,000 (税込)

学生券
26歳以下
学生証提示

中京テレビ事業HPよりエントリー後抽選。詳しくは<https://cte.jp/gakusei/>をご覧ください。
[一般席と並びご購入されたい場合]
公演1ヶ月前に残席がある場合に限り、並びでご予約いただけます。詳しくは中京テレビ事業までお問い合わせください。

●未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断りいたします。
●プログラム内容等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

主催: CHUKYO TV 企画・運営: 中京テレビ事業

チケットのお求め・お問い合わせ

中京テレビ事業 ☎052-588-4477
(平日11:00~17:00/土日祝休業)

<https://cte.jp/39cf/> 名古屋クラシックフェスティバル 🔍

[一般発売] 9/10(金)11:00~ 座席表からお席をお選びいただけます!

プレイガイド

- ◆ チケットぴあ [Pコード:201-653] <https://t.pia.jp>
- ◆ 愛知芸術文化センタープレイガイド 052-972-0430
- ◆ ローソンチケット [Lコード:41960] <https://l-tike.com>
- ◆ e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>
- ◆ 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755
- ◆ セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート店頭

©新型コロナウイルス感染症対策に関するご案内
ご来場いただく皆様に、安全に安心してご鑑賞いただけるよう、感染症拡大防止対策を徹底し開催いたします。中京テレビ事業HP <https://cte.jp/>の注意事項をご確認の上、ご来場ください。

幼少期にオルガンに魅せられ、ブレハッチの音楽の原点でもあるバッハ、
オルガン曲を多数残し、バッハ同様重要な作曲家だと語るフランク、
そして定評のあるベートーヴェンとショパンのソナタへの異なるアプローチ ——
陰鬱と侘しさのハ短調と、孤独でメランコリックな口短調だけで構成されたプログラムの意味 ——
ブレハッチの音楽の集大成が今ここに!!

Piano Recital Rafal Blechacz



ラファウ・ブレハッチ

2005年、第15回ショパン国際ピアノコンクール優勝。マズルカ賞、ポロネーズ賞、コンツェルト賞、ソナタ賞(クリスチャン・ツィメルマンにより創設)、オーディエンス賞と全てを同時受賞し、同世代で最高のショパン弾きと認められた。それから12年の時を経て、ブレハッチは真に世界的な名声を誇るアーティストの地位を確立している。彼のレパートリーはバッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、リスト、ブラームス、ドビュッシー、シマノフスキと拡大を続け、その中からドイツ・グラモフォンより6枚のアルバムがリリースされた。この間の活動が高く評価され、2014年1月には、「ピアノのノーベル賞」とも称されるギルモア賞(アメリカ)を受賞。

1985年ポーランドのナクウォ・ナデ・ノテション生まれ。5歳からピアノを習い始め、ピドゴシチ市のルービンシュタイン音楽学校(ヤチェク・ボランスキ教授)を経て、ナワヴェジスキ音楽大学にてカタジーナ・ポボヴァズィドロノ教授に師事、2007年に卒業。在学中より、第13回ヨハン・セバスチャン・バッハ・ポーランド全国コンクール第1位およびグランプリ(1996年)、第5回A.ルービンシュタイン国際青少年ピアノコンクール第2位(2002年)、第5回浜松国際ピアノコンクール1位なしの第2位(2003年)など数々の賞を獲得。

ショパンコンクール優勝後は、ウィーン楽友協会、ベルリン・フィルハーモニー、コンセルトヘボウ、サル・ブレイエル、ロイヤル・フェスティバル・ホール、ミラノ・スカラ

座など世界の名だたるホールで演奏活動を始め、ザルツブルク、ヴェルビエ、ルール・クラヴィエア、ギルモアといった主要音楽祭にも招かれている。

また、シャルル・デュトワ、ワレリー・ゲルギエフ、ダニエル・ハーディング、パーヴォ・ヤルヴィ、ファビオ・ルイーゼ、ケント・ナガノ、アンドリス・ネルソンス、ミハイル・ブレトニョフ、アントニ・ヴィット、デイヴィッド・ジンマン等世界的な指揮者と共演。

2006年よりドイツ・グラモフォンと専属契約。ポーランド人演奏家として、クリスチャン・ツィメルマンに続く2人目となった。初のCD「ショパン：前奏曲集」でエコー・クラシック賞(ドイツ)、ディアバゾン・ドール賞(フランス)を受賞。その後、2010年にはショパン生誕200年を記念してイェジー・セムコフ指揮ロイヤル・コンサートヘボウ管と録音したショパンのピアノ協奏曲1番、2番でドイツ・レコード批評家賞を受賞。「ドビュッシー／シマノフスキ」ではエコー・クラシック賞、グラモフォン誌月間ベスト・アルバム、2013年クラシック音楽の最優秀録音としてフレデリック賞(ポーランド)を授与された。2013年の「ショパン：ポロネーズ集」は発売と同時にゴールド・レコードに輝き、再びドイツ批評家賞を獲得。2017年にはJ.S.バッハの作品集が2月にリリースされ絶賛されている。批評家たちからこれらの芸術的功績を讃えられ、キジアナ音楽院国際賞(イタリア)を2010年に贈られる。2015年、ポーランド共和国大統領メダルであるポーランド復興勲章カヴァレルスキ十字勲章を授与された。



©Marco Borggreve

いま望みうる最高級の音楽芸術をあなたに!

第39回 名古屋クラシックフェスティバル

2021年10月30日(土) ▶ 2022年2月4日(金)

愛知県芸術劇場コンサートホール

主催: CHUKYO TV 企画・運営: 中京テレビ事業

